

質問者：三浦一水



11月30日 理事を務める参議院外交防衛委員会において、対中 ODA、靖国参拝問題などの日中関係、自衛隊員4万人削減案とも関連する新防衛基本計画などについて、町村外務大臣、大野防衛庁長官など(写真下)に質問。
<第34委員会室>



参議院外交防衛委員会は、伝統的に国会両院で唯一、質問者と答弁者が座ったまま質疑を行う。

ご挨拶

立春の候、幾多の災害がたて続いた昨年二〇〇四年ですが、それを乗り越えて新年を迎えられました皆様にご心から喜びを申し上げます。

皆様方のお支えで、私も今年は国会議員として十年目の節目を迎えました。これを機に、一層郷土熊本と国家のためにがんばることをお誓いを申し上げたいと思います。

改革という旗じるしのもと、さまざまな議論と取り組みが始まりました。三位一体、郵政、あるいは特区構想を含む規制改革。自分自身国会の議論の中で、それらのものと関わっていく中に、改革自体の重要性は認めながらも、やみくもな規制緩和などは大型店舗法にみるように、地方発展の足かせにもなることも多いと感じてまいりました。

昨年の補助金と地方交付税の削減論に見られたように、本当に国と地方の両方の視点で全般にわたる気配りと目配りをして、政治の最大の役割であります国民生活の安寧を守りながら改革をはかっていくという役目を政治が果たさなければなりません。急激な改革あるいは独断先行的な手法は、本来の改革を破壊へと結び、独裁へもつなげてしまいかねない危険性をはらみます。

熊本の立場においてもまたそうであろうと強く感じしております。それらの状況をしっかりと把握し、大地に足を踏ん張り、あくまで現場と国民県民の視点にたつて、三浦一水は今後もまた政治活動にあたってまいります。

ご支援いただきます各位の心からのご多幸とご健勝をお祈り申し上げます一言ご挨拶にかえさせていただきます。

参議院議員 三浦 一水

2004年(9月～12月) 【活動の軌跡】



台風18号来襲後、県下の農業被害を中心に7日間かけて視察。落葉果樹(梨・栗等)やデコボンの果実の落下した様子、干拓地の実が入らないもち米の穂が60haにもわたり茶褐色化した状況、メロンの全滅、いずれも悲惨な状況を目の当たりにし、心が痛みました。天災融資、復旧予算、共済による救済など、今回の台風被害対策に万全を尽くしてまいりました。災害多発地とあきらめることなく、日頃から治山治水を治政の要として取り組み、国民県民の生命財産を守っていくことに飽くなき戦いを続けなければと強く思いました。

写真は、キャベツ畑(上)とビニールハウス(下)の被害状況の確認。
<上益城地区>



9月6日 上京されたJA八代女性部の皆様と懇談。国会見学後の記念撮影。 <国会議事堂正面玄関前>



9月26日 アテネ五輪で見事金メダルを獲得した、柔道男子66kg級の内柴正人選手の祝勝会に出席。対中ODAの視察先の中国貴陽市のホテルのテレビ越しに内柴選手を応援した。じかに、金メダル獲得までの苦労話・裏話などを拝聴し、「本当に金メダルがとれて良かった」との思いを新たにされた祝勝会でした。
<熊本市内ホテル会場>

【一青会】

本会は平成7年三浦一水氏の参議選初出馬に際し、現職農協青壮年部として取り組んできたOBを中心に平成13年5月に三浦一水後援会「一青会」として結成いたしました。支援する身により食農緑を守り地域社会の発展を目指し、併せて会員の相互の親睦等を深めることを目的にしています。

水前寺の事務所に行くと、当時キャラバン隊で県内各地を回った時に、農協役員女性部青壮年部盟友達の熱い思いが書かれた「寄せ書き」が大きな額縁に入れて飾ってあります。我々の代表を国会へ！あぜ道からの声を国政へ！など、農業者の熱い思いがひしひしと感じられ、初心を思い出してファイトが出てきます。

本人もこの10年間、参議院農林水産委員長・自民党副幹事長等の役職を経験され、成長していく姿をみるにつけ、今日まで応援したかいがあり大変嬉しく思っています。今後とも農協青壮年部のOBとして現職青壮年部と力を併せ後援会の発展の為に頑張るつもりです。

一青会 会長 古庄 則幸



10月15日 県軍恩連の皆様の陳情を受けた後、首相官邸内の、組閣時に総理と新大臣が並ぶ同じ階段に立っての記念撮影。 <首相官邸内>



10月30日 中国帰国者家族交流会に参加し、永年務めてこられた東家元衆議院議員より引き継いだ、県中国残留孤児等対策協議会の会長として、残留孤児の皆様と得意の中国語も交えて懇談

<水辺プラザかもと>



10月17日 県青果食品商業協同組合連合会主催のグランドゴルフ大会。流通改革で厳しい環境にありながらも生き生きと楽しくプレーされる各チーム会員の皆様を応援・激励する。 <八代市内>



11月2日 東京の大田市場にて行われた、県産みかん「豊福」の初せりに、県果実連理事として参加。台風被害も大きく、なんとか迎えた初せりでしたが、今後の出荷状況・価格推移など注意深く見守りたいと思います。 <東京中央卸売市場大田市場>



11月22日 参議院災害対策委員会のメンバーとして、大規模噴火から約4年が経過した三宅島の復旧状況を2月の帰島を前に視察。 <東京都三宅村>

【一芳会】

昨年は、国の内外共々、正に激動の年だったと思います。本年こそ全世界の人々が手を取り合って心豊かな平和な一年となる様心から祈念いたしています。世界中のあちこちで、争いや、テロが続いて、尊い命が消えそれが今、尚続いている世界の情勢の驚きより悲しくなります。

日本の国内も考えてみますと、家庭、学校、社会に起こる様々なくらいニュースに心痛む日々の連続でございました。この日本を建て直す原動力は、個々の心の中にあリましても、国を動かす力は、やはり政治に携さわる方々のお力だと存じます。

そこで、若くしてファイトの溢れる誠実な政治家、三浦一水議員を、私共「一芳会」は応援申し上げている次第でございます。

「一芳会」の名前は、三浦一水議員の「一」を頂き、「芳」は、奥様の麗芳様の「芳」の字をいただき、「一芳会」と名付けて、本年は結成以来七年目の歩みが続いているところでございます。この「一芳会」は、始めは女性ばかりの会でしたが、最近、男女の区別なく御入会いただき、昨年の会には、女性により男性が多く参加されまして、より力強い「一芳会」となりました。

この「一芳会」は男女を問いません。一人でも多くの方々と、心と力を寄せ合って、世界に誇る日本再生のために、将来に生きる子供達のために、国会議員三浦一水先生を通して、今こそ全力投球いたしましょう。

一芳会 会長 中野 揚子

後援会からの
メッセージ



12月14日 阿蘇郡農政連の皆様により開催された、米・野菜・畜産などの農政問題に関する勉強会に参加する。

<自民党本部>



12月2日 県内の高校の1年生が修学旅行の一環として国会見学。地域の先輩として、皆さんに一言だけご挨拶。元気よく挨拶を返してくれる皆さんとのふれあいで、心が洗われる時間だった。

<参議院内>



12月16日 参議院自民党と日本経団連で定期的に行っている意見交換会の中に設置された構造改革特区・規制改革分科会の主査を拝命する。今回は、民間からの具体的な改革規制改革要望や「市場化テスト」について活発な意見交換を行う。個人情報保護の問題など、浮き彫りにされた課題について、会を重ねながら議論を深めていく予定。

<都内ホテル会場>

【くまもと新世紀をきずく県民の会】

私ども、「くまもと新世紀をきずく県民の会」は、21世紀を迎え郷土熊本に誇りを持ち熊本の発展を目指す、20代や30代の若者や女性を主とした団体として平成13年3月18日に発足しました。

三浦参議とは、平成13年の参議院選挙より、国家及び郷土熊本について議論し、ともに活動をしてまいりました。

あれからはや4年が経とうとしております。イラク問題や拉致事件、年金問題や経済状況などわが国を取り巻く環境も激変し我々の未来も、すっきりしないながら加速をつけて進んでいるように思えます。

このような不透明な時代だからこそ、政治を通して若者が、問題意識を持ち、国や、郷土熊本に対し意見し行動することが大事になってくると思います。

「くまもと新世紀をきずく県民の会」も、今後定期的に会合の場を設け意見や懇親を深めていければと考えておりますので今年も、変わらぬ御協力をお願い申し上げます。

くまもと新世紀をきずく県民の会

会長 西釜 茂文

後援会からのメッセージ

「三浦一水」政治活動ご支援のお願い

「三浦一水」の広範な政治活動を支える為、「政治資金」のご協力をお願い申し上げます。同封の振込み用紙をご活用頂ければ幸いです。

個人：2,000円/一口

法人：10,000円/一口

三浦一水熊本事務所

〒862-0951 熊本県熊本市上水前寺2-10-6
TEL (096)382-3737 FAX (096)382-4300
E-mail: m.kumamoto@muc.biglobe.ne.jp



<案内図>